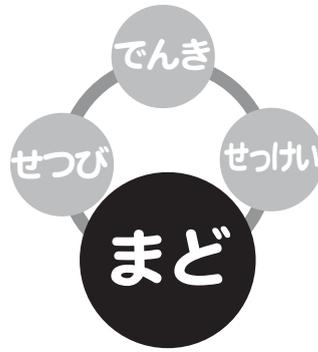


【ペアのまま、高断熱に】

今回のプロジェクトでは、ガラスをペアガラスのままでも如何に断熱性能を上げるかがテーマでした。窓をトリプルにすると、断熱性能は上がりますが、購入値段も上がってしまいます。重たいので開け閉めも大変でしょう。そこで、ペアガラスのままでも高い断熱性能を求めたわけです。



【ペアでもトリプル以上】

この家に取り付けたガラスは
■ペアガラス
 LOW-E クリプトンガス仕様
 K値 1.0Kcal/m²・h・℃
 日射透過率 55.6%

ちなみにトリプルガラスの場合
 K値 1.6Kcal/m²・h・℃
 日射透過率 46.5%

ですから、ペアガラスでもトリプルガラス以上の効果が出るようになります。

そう、この家はトリプルガラスを付けた家よりも高性能な家になるはずなのです。

ちなみにK値（熱貫流率）とは、熱が材料を通して温度の高い空間から低い空間へ伝わる現象で、そのときの「熱の伝わりやすさ」を表す数値です。この数値が小さいほど熱を伝えにくく、断熱性能が高いのです。

担当者
は皆さまに
ココを
見て欲しい

【日射透過率って？】

それは冬場の角度の低い太陽熱を、如何に住宅内に取得できるかという数字です。自然エネルギー利用という点では欠かせないファクターです。

この家には日射透過率 55.6%の窓をつけているので、半分以上、太陽熱を取り入れることとなります。その熱を逃がさないために、クリプトンガスという比重の重いガスを新採用！（ガラスとガラスの間に注入）

それが業界では驚異の
 1.0Kcal/m²・h・℃を
 現実にしたのです。

【広葉樹の木窓】

今回は床材に合わせて、北海道ではなかなか見なかった広葉樹の木窓にチャレンジしてみました。

床が広葉樹なのに針葉樹の木窓では窓が安く見え せつかく入れた窓に価値観がなくなります。

外部アルミ被覆に内ホホワイトオーク材 それとホワイトアッシュ材の木窓、更にヒバ材による木窓とアルミフェースと今までにない窓を表現しております。

森の中の探索の様に、各部屋の窓の材種や香りを確認して歩いて楽しんでください。

